



夏休みまであとすこしです。子どもたちは自由に時間を使える夏休みを心待ちにしていることでしょう。この機会にご家庭でもお子さんの時間の使い方についてご一考いただけると幸いです。夏休みは気候が学習に不向きということで長期休業ですが、子どもが自分だけで計画的に過ごすには長すぎます。充実した時間とするために大人のプロデュース、支援、調整が必要です。

例えば、ご家族でこんな夏休みの経験はどうでしょう？主に生活科、社会科からの発展です。

1年生は、生活科で学校の近くを歩いたり、公園で遊んだりしています。
2年生は、範囲を広げて通学路の途中にある様々な場所を探検しています。お子さんのお気に入りの場所を紹介してもらったり、案内してもらったりしてはどうでしょう？大人も知らない秘密の場所に連れて行ってくれるかもしれませんよ。一緒にお散歩してくれる年代です。



八重垣神社を見学する2年生

3年生は、社会科で、松江市の学習をします。松江市といっても大きいので、知らない場所もたくさんあるはず。レイクラインに乗って松江を再発見するのも面白そうです。総合的な学習の時間では大庭の町をPRしようという学習でテーマを決めて、「調べてまとめて伝える」学習をします。お子さんにその場所をガイドしてもらってはいかがでしょう？

4年生の社会科は島根県の学習となります。19市町村をぐるっと一周というのはいかがですか？それぞれの市町村の特徴が実際に体験することでしっかりと頭と心に残ることでしょう。その時には事前学習が大切です。ぜひここに行きたいという場所を相談して、下調べをお子さんに依頼するとよいでしょう。理科で栽培しているへちまを高く高く育てることに挑戦することも面白いですよ。

5年生は、全国の特徴のある地域のくらしや日本の産業について学習します。教科書に載っている場所、例えば岐阜の輪中集落に実際に行ってみることができれば、百聞は一見にしかず、いえ「百聞が一見で生きる」で学習したことが生かされます。家族旅行の機会があれば、工場見学などを取り入れてみられてはどうでしょう？おとなの工場見学もブームとなりました。大人も子どもも学ぶことの楽しさを感じることができそうです。家庭科で調理もしていますし、宿泊研修ではカレーも作りました。



煙に負けずカレー作り 5年生

6年生は歴史を学習しています。見学先は、日本中いくらでもあります。予算〇万円で、行先・宿泊先・見学地(歴史的史跡を入れる)・交通手段などなど子どもが決めて家族旅行を行ったというご家庭もありました。6年ともなれば、機会を与えればそのくらいの力があるものです。高学年であれば、家から離れて子どもだけで生活する野外イベントを活用することもたくましい子を育てるチャンスです。大庭公民館のサマーキャンプは定員に達したそうですが、毎年様々なイベントがあります。

定番の夏休みの課題と言えば自由研究や読書感想文があります。湖東中学校区でも自分でやってみたい課題を決めて自分なりに解決に取り組む個人探究の時間を取り入れていきたいと考えています。日頃、疑問に思ったことを自由に研究してみる機会となればうれしく思います。また、たくさん本を読んで、良い本との出会いがあればそれを感想文にまとめることもよい経験となります。公民館で開かれる「おおばてらこや」では、中高大学生と一緒に学ぶ場もあります。←6月3日 tetoru でお知らせ

どの学年でもお手伝いはぜひやってほしいものです。将来の自立に向けひとつひとつ家事を行えるようにしていくことは、とっても大切です。以前と比べて子どもができることは大幅に増えました。お風呂の掃除やトイレ掃除はスプレーして流すだけのものもあります。洗濯機も料理家電も便利になりました。そういえば、きょうだいで毎日料理を作った子もいました。

夏休みだけではありませんが、睡眠はしっかりととってほしいと思います。小学生の推奨睡眠時間は9時間～12時間です。特に高学年の子と話していると就寝時刻の遅さが心配です。家庭科の時間の使い方の学習を見ると、ゲームの時間がとてもとても長い子どももいました。くれぐれもゲーム漬け、SNS 漬けにはご注意ください。夏休みであっても、ご家庭のルールの確認をお願いします。

大庭小の時間割・・・時間の使い方の話に合わせてご紹介

大庭小学校の時間割は、2年前に比べて、123年生は週1時間程度、456年生は週0.5時間程度 少なくしています。大庭小学校もそうでしたが、多くの学校は、学習指導要領で定められた各教科の時間数をそのまま、時間割にはめ込むことが多く、例えば、2年生では国語9時間(年315時間)、算数5時間(年175時間)、生活3時間(105時間)・・・といった具合です。この時数は35週で計算されているのですが、実際に学校に登校するに日数は年40週200日くらいです。そこで35週分を40週にならしていくと、大庭小学校の時間割でも全く問題なく定められた時数を確保できます。

授業時間を多く確保してきたのは、臨時休業などがあっても学習内容を保証するという配慮からでした。ただ、学校にいる時間を長くすることで、子どもたちが自由に使える時間を少なくしていたという面もあります。家庭や地域で過ごす時間、自分の興味関心に応じた時間、睡眠時間もまた大切にしてほしいと思います。 ※高学年の子どもたちが学校で過ごす時間は1日7時間として1年 8760 時間の15%くらいです。

土曜日も授業を行っていたころの1日の時間割にはゆとりがありました。これを週5日に詰め込んで、学習内容も増えているのですから、学校の1日は忙しくなりました。正直小学生の6時間目がどれほど効果的かという疑問です。

とはいえ、法令に基づき学校教育を行うのは当然ですから、時数を確保しつつ、バランスをとった結果が、今の時間割です。将来の自立に向けて時間のマネジメントができる子を育てるためにも学校・家庭・地域の連携が大切です。夏休みが大人の見守りの中で時間の使い方を学ぶ機会となることを願います。

小学校高学年の標準的な時間割例	1989年学習指導要領 (82～2001年度)						2008年 (11～19年度)					
	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	
	1	国	国	国	国	国	道	1	国	国	国	国
	2	算	算	算	算	算	学	2	算	算	算	算
	3	社	音	社	体	図	見/ク	3	社	理	社	理
	4	理	家	理	音	図		4	音	家	理	体/家
	5	体	体	音	家	社		5	体	学	体	音/図
	6		国	理				6	道	見/ク	外	総
	1998年 (2002～10年度)						2017年 (20年度～)					
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金	
1	国	国	国	国	国	道	1	国	国	国	国	国
2	算	算	算	算	算	道	2	算	算	算	算	算
3	社	理	社	体	理/社		3	社	理	社	理	社
4	音	家	体	体/家	図		4	音	家	理	体/家	図
5	体	国/音	図	家	学活		5	体	学	体	音/図	外
6	総	見/ク		理			6	外	見/ク	道	総	総

※「学校の時数をどうするか」より。〔見/ク〕は児童会活動/クラブ活動

大森直樹他著「学校の時数をどうするか」の上の時間割比較例は多くのメディアで取り上げられました。